

報告日 令和7年7月23日

報告回次 2日目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	兵庫県			代表者名	坂本 哲也
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	自治研修所	連絡先電話番号	078-754-8228
担当者役職	課長補佐	担当者氏名	鳥居 良介	連絡先E-mail	
住所	655-0872 兵庫県神戸市垂水区塩屋町5-3-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（複数団体）	事業名	スマートシティを考える		
概要	本研修は、県および市町職員がスマートシティ政策立案に必要な知識とスキルを体系的に習得することを目的とし、スマートシティの概念理解から、具体的な地域課題の特定、テクノロジーを活用した解決策の検討、そして持続可能な運用モデルの構築まで、一連のプロセスの指導を願います。				
支援を求める分野	人材（DXに関する知識習得・研修・育成） スマートシティ				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1.

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年7月23日	支援・助言(実地)	9時30分	17時45分	60
				活動時間（分）	435

2-2.

派遣場所	会場名	兵庫県自治研修所	最寄駅	JR垂水
	所在地	兵庫県神戸市垂水区塩屋町5-3-1	最寄駅からの交通手段	タクシー

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	松崎 太亮
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	参加者のセクターに合わせた講義内容にアレンジしていただき、単なるスマートシティ事業の説明にとどまらず、共創的観念を含んでいただいた。国内外の事例も特色あるものを紹介いただき、今後スマートシティを考える上での知識の幅を広げる講義運びで、またワークショップでは研修生それぞれの設定したテーマに合わせて、アドバイスや質問への回答をいただき、実に研修生に寄り添った運営であった。研修生同士のネットワークを広げる工夫もされており、お願いしていた以上の研修のねらいの達成にご協力いただけた。
アドバイザーへの要望事項	機会があれば、複数日実施の研修にもご協力いただきたい

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者

属性	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	14人
	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
人数	11		3	

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	現在、県内の多くの市町においてスマートシティの概念は認識されつつあるが、一部の自治体を除き、具体的な政策として落とし込み、実行する段階で課題を抱えている。特に、デジタル技術の導入に先行しがちな傾向があり、地域課題の深掘りや住民ニーズとの整合性、多分野連携の推進、長期的な視点での政策評価といった点で、専門的な知見や実践的なノウハウが不足しており、結果として、個別の技術導入にとどまり、地域全体の課題解決や住民生活の質の向上に繋がるスマートシティ政策の推進が遅れている地域がある
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	職員ひとりひとりのスマートシティに対する考え方を整理し、目的である課題解決と手段であるデジタルツールの活用を正しく理解し、政策提案につながる人材を育成する。各所属に戻ったのち、課題意識を持って日々の業務に取り組みつつ、新たな課題解決に向けた政策提案を行っていく。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	スマートシティ政策の最新動向と国内外の先進事例紹介: 政策立案のヒントとなる具体的な成功事例や課題、トレンドを共有いただき、職員の視野を広げていただいた。地域課題の特定とデジタル技術のマッチング支援: 各市町の抱える具体的な課題に対し、どのようなデジタル技術やデータ活用が有効か、実践的なアドバイスをいただいた。国内のスマートシティ化が海外の取組に比べて遅れており、それはどこに課題があるのか、また、行政以外のセクターへの協力をどう取り付けていくのか多様なステークホルダーとの連携を深めるための実践的な助言もいただいた。 政策立案プロセスのワークショップ形式での指導: 座学だけでなく、実際に手を動かしながら政策を立案するワークショップ形式での指導を通じて、実践的なスキル習得を支援していただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	上記にあげた課題に対して、スマートシティに対する認識レベルを上げ、技術先行の考え方ではなく、地域政策を軸とした政策展開のための手段としての認識を深め、広い視点で課題のインパクトポイントにアプローチする考え方や手法を取得することができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	①事業に係る計画書等を策定できた
	実物ではなく、演習内で簡易的な企画書を作り上げた。まったく知識がない状態から、ひとつずつ丁寧な指導をもらい、フレームワークを再現し、知識の定着を行った。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	基礎部分だけの指導となったため、課題の掘り下げや、調査方法などまで実施するに至らなかった。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(E X C E LやP D Fでの分析結果を添付されても結構です。)	
	アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートは後日実施予定	
4－3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
	特に事業の予定はないが、各職員が所属において、習得した知識を活用した施策を提案していくことを期待している。	
4－4. 事業の最終的な目指す姿	本研修を通じて、県および市町職員がスマートシティに関する総合的な政策立案能力を向上させ、地域特性に応じた住民中心のスマートシティ政策を効果的に推進できるようになることを最終目標とします。	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	☐ 掲載可
------	---------------------------

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

